

“本当の地球はこれからだ。”—アラタ

NISHI ARATA

西 新太



“見るべきものほど見えない” ～ラブを解き放て～

Recent Works and Retrospective
: We Can't See as Much as We Should
-----Unleash your heart of love!

2025 12/13 — 2026 3/22

入館料 一般 / 高校生以上 510円(460円) 小中学生 250円(200円) ※()内は20名以上の団体料金 諏訪6市町村の小中学生無料

開館時間 9:00—17:00(最終入館16:30) 年末年始(12/28-1/3)のみ休館

主催:八ヶ岳美術館 原村 原村教育委員会 協賛:スマテック建設株式会社 株式会社イツミ 諏訪信用金庫 たてしな自由農園

八ヶ岳美術館
原村歴史民俗資料館
TEL/FAX: 0266-74-2701
E-mail: info@yatubi.com
<https://yatubi.com>

NISHI ARATA 西新太

“見るべきものほど見えない”
～ラブを解き放て～

2025
12/13 Sat — 3/22 Sun
2026

“俺のノイズとアラタの光、混ぜたら‘目覚め’の色になった。”

—カート “AI” コバーン

企画展「西新太 見るべきものほど見えない～ラブを解き放て～」を開催します。

西新太 (にし・あた) は、1983年横浜市生まれ、原村育ちの画家で、2008年愛知県立芸術大学美術学部油絵科を卒業したのち、原村に戻り絵画制作を続けています。「絵を描くドramaー」を目指していた西は、大学在学中から、原村を拠点とするバンド OGRE YOU ASSHOLE (オウガ・ユー・アスホール) の初代ドramaーとして各地の音楽ライブに出演し、アルバムのジャケットも手掛けるなど、絵画と音楽活動の分野で活躍してきました。現在では、宇宙に根源エネルギーとして流れる〈愛〉をテーマしながら「全ての出会いや運命のなかに等しく流れている暖かな力」を絵画に表現しています。画家が絵の具を垂らし、そこにかすれた筆触の動きを重ね、ときにはカラースプレーを吹きつけたり、紙や落葉を貼りつけてコラージュにするなど、あらゆる色や線を駆使しながら即興的に描いた一つ一つの絵画の宇宙。そこでは、きらめく色彩や暖かなエネルギーが、自由にドラマチックに出会いを繰り広げています。

本展では、バンドの音楽性を感じさせる初期の具象的な作品群から、エnergicな筆致のなかにどこか飘逸 (ひょういつ) なユーモア漂う現在の抽象絵画までの展開を一挙公開。あわせて単独ライブも開催。西新太による絵画 / 音楽表現の限りない宇宙——その絶え間ない躍動をご堪能ください。



《なんなの》2024年



《ホインズ》2024年

関連イベント

ART & MUSIC LIVE

1.〈作家在館〉西新太による似顔絵制作 13:30 ~ 16:30

12月13日(土)・27日(土) / 1月10日(土)・24日(土)
2月14日(土)・22日(日) / 3月7日(土)・22日(日)

※アーティストがあなたの似顔絵をその場で制作。無料でおもちかえいいただけます。

2.西新太ライブ 15:30 ~ 16:30

〈スピリチュアルアート・オブ・ノイズ〉

12月20日(土)・1月17日(土)・2月11日(水・祝)・3月21日(土)

※1.2各回とも予約不要 / 参加無料(入館料別途) 会場:八ヶ岳美術館 企画展示室

| 西新太 Arata Nishi

1983年横浜市生まれ。1989年から長野県諏訪郡原村に育つ。
2002年愛知県立芸術大学美術学部油絵科に入學し油絵を学ぶ。
在学中からOGRE YOU ASSHOLE (2001年結成、バンド名は西の腕に描かれた落書きに由来) の初代ドramaーとして各地のライブハウスに出演するが2004年、脳出血に倒れ、半年の昏睡状態をへて覚醒。
2006年の復学後は絵筆を左手に持ち替え、紙にアクリル絵の具で即興的に描くようになる。翌年にはカフェROBIN (原村) にて初個展を開催。2009年からは原村の自宅アトリエに拠点を移して精力的に活動。現在まで3000枚に及ぶ絵画を描いている。
小さな絵本美術館 (原村/2019)、島田画廊 (東京都/2008)、十一月画廊 (銀座/2010・2013・2017~23)、ハートフィールドギャラリー (名古屋市/2008・2010・2018~24)、アノニムギャラリー (茅野市/2018年※二人展)などで個展多数開催。村内のこひつじ幼稚園では月1回の「マイケルと絵画の時間」にて、子どもたちとふれあい—ありのままに描く—おえかきの活動を続けている。



2月21日(土) ~ 3月22日(日)

「こひつじ幼稚園 〈マイケルと絵画の時間〉から生まれた作品たち」

会場:八ヶ岳美術館 エントランスギャラリー ※エントランスのみの入室は無料



八ヶ岳美術館 (原村歴史民俗資料館)

八ヶ岳美術館の建物は、文化勲章受章者・村野藤吾の設計によるもので、日本建築家協会25年賞を受賞しました。曲線を多用したドーム型で天井はレースカーテンの絞り吊りになっています。落ち着いたやわらかな明かりのなかで、作品をゆっくりとご覧いただけます

◎常設展

美術作品:清水多喜示(彫刻・絵画)、津金雀仙(書)

考古学資料:国指定阿久遺跡をはじめ、村内の遺跡から出土した縄文土器・石器を展示

◎ご利用案内

開館時間 9:00~17:00 (最終入館は16:30まで)

休館日 年末年始(12/29~1/3)、臨時休館を除き年中無休

入館料 一般(高校生以上) 510円(460円)、小中学生250円(200円)

※()内は20名以上の団体料金。諏訪6市町村の小中学生は図書カード、学生証などの提示により無料で入館できます

〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611 TEL/FAX 0266-74-2701

E-mail: info@yatubi.com https://yatubi.com/

